



おーいしだ

大石田町



小学校陸上大会

P2～3

最上川ふれあいマラソン大会

P4

防災情報の伝え方が変わります

P6～7

■表紙写真

大石田南小学校田植え体験（5月28日）
5年生児童が素足で田んぼに入り、昔ながらの田植えを体験しました。

第69回 大石田町小学校 陸上競技大会



1000E

第1位	柏倉 由来(大)	4分02秒9
第2位	五十嵐勇吾(大)	4分05秒9
第3位	渡邊 維央(北)	4分10秒5
第4位	遠藤 由悠(大)	4分14秒0
第5位	三浦 爽太(大)	4分23秒3
第6位	芳賀 瑠孔(北)	4分33秒5

○5年男子

第1位	齋藤 大翔(北)	3分51秒2
第2位	鮎川 春空(南)	3分57秒6
第3位	佐竹 尊行(南)	4分13秒7
第4位	熊谷 学斗(南)	4分14秒4
第5位	齋藤 由琥(大)	4分16秒2
第6位	齋藤 旬(北)	4分49秒8

○6年男子

第1位	保芦摩比呂(北)	3分18秒3
第2位	後藤 星南(大)	3分34秒3
第3位	鈴木 成琉(北)	3分37秒1
第4位	島田 寛士(大)	4分15秒8

走り幅跳び



第1位	村岡 大	2583cm
第2位	今野 瑛太(北)	2583cm
第3位	早坂 湊友(大)	2583cm
第4位	青柳 爽介(大)	2583cm
第5位	柏倉 大地(北)	2583cm
第6位	早坂 千隼(南)	2583cm

○5年女子

第1位	森 優希愛(大)	2583cm
第2位	榎本 陽咲(大)	2583cm
第3位	工藤 綺桜(北)	2583cm
第4位	村上 美月(大)	2583cm

走り高跳び



第1位	早坂 勇介(北)	9595cm
第2位	山口 恒(北)	9595cm

○5年女子

第1位	海藤 育世(北)	1111cm
第2位	田中 心菜(大)	1111cm
第3位	高橋みのり(南)	1111cm
第4位	東海林あや(大)	9500cm

80mハードル

第1位	木村 天真(大)	17秒7
第2位	阿部 由稀(南)	18秒0
第3位	石塚 健介(大)	18秒1
第4位	斉藤 陸輝(南)	18秒4
第5位	海藤 辰徳(北)	19秒3
第6位	柏倉 蒼良(北)	20秒7

○5・6年女子

第1位	伊藤 凜(南)	17秒7
第2位	石山 花暖(北)	18秒0
第3位	高橋 来実(南)	19秒7
第4位	高橋のぞみ(大)	19秒8
第5位	井荻 咲貴(北)	20秒6
第6位	寺崎ひなた(大)	21秒0

100M

第1位	五十嵐勇吾(大)	17秒0
第2位	笹金 拓矢(北)	17秒4
第3位	渡邊 維央(北)	17秒5
第4位	芳賀 瑠孔(北)	17秒8
第5位	遠藤 里来(大)	18秒2
第6位	柏倉 由来(大)	18秒4

○4年男子

第1位	齋藤 湊(大)	17秒9
第2位	柏倉 りん(北)	18秒1
第3位	佐藤 未歩(北)	18秒3
第4位	矢作 橙菜(大)	18秒5
第5位	佐藤 咲菜(北)	18秒8
第6位	佐藤 美玖(大)	19秒0

○5年男子

第1位	村岡 大	15秒9
第2位	今野 瑛太(北)	16秒0
第3位	早坂 湊友(大)	16秒5
第4位	青柳 爽介(大)	16秒7
第5位	柏倉 大地(北)	16秒7
第6位	早坂 千隼(南)	16秒9

○4年女子

第1位	齋藤 湊(大)	17秒9
第2位	齋藤 由悠(大)	18秒1
第3位	三浦 爽太(大)	18秒3
第4位	芳賀 瑠孔(北)	18秒5
第5位	佐藤 咲菜(北)	18秒8
第6位	佐藤 美玖(大)	19秒0

○5年女子

第1位	伊藤 優希愛(大)	16秒8
第2位	海藤 育世(北)	17秒0
第3位	田中 心菜(大)	17秒3
第4位	高橋みのり(南)	17秒4
第5位	榎本 陽咲(大)	17秒5
第6位	奥山 琉花(南)	17秒6

○6年男子

第1位	押切 快頼(大)	14秒9
第2位	石塚 健介(大)	15秒3
第3位	齋藤 敦生(北)	15秒5
第4位	山田 吏粹(大)	15秒6
第5位	保芦摩比呂(北)	15秒7
第6位	佐藤 悠喜(北)	16秒0

○6年女子

第1位	阿部 らら(大)	16秒6
第2位	伊藤 麗奈(南)	16秒7
第3位	八木 咲(南)	17秒0
第4位	石山 暖(北)	17秒0
第5位	高橋 和(大)	17秒1
第6位	高橋 心(大)	17秒4



男子400E



第1位	大石田A	59秒7
第2位	大石田北A	1分00秒6
第3位	大石田北B	1分02秒5
第4位	大石田南A	1分05秒9
第5位	大石田南B	1分08秒6
第6位	大石田南A	1分10秒6

女子400E

第1位	大石田A	1分06秒0
第2位	大石田北A	1分06秒3
第3位	大石田北B	1分07秒4
第4位	大石田南A	1分08秒2
第5位	大石田南B	1分08秒5
第6位	大石田北B	1分11秒6



最優秀選手賞
村岡 大 (大石田小)
5年走り幅跳び大会タイ記録

8/16 大石田まつり 最上川花火大会

打ち上げ花火大募集!

あなたの熱い想い、大石田の夜に打ち上げませんか

最上川に灯ろうが流れる中、町民号「20号玉10連発」をはじめとする大型花火や、光と音の織り成す幻想的な創造花火の打ち上げなど、大石田の「元気」を結集したまつりにしていく予定です。

皆さんの打ち上げ花火を募集しています。夏の最上川にあなたの想いを打ち上げませんか。

記念花火

「○○ちゃん、お誕生日おめでとう!」、「還暦記念」、「結婚おめでとう」、「開店○○周年」など、家族や仲間、会社などの記念日や日頃の感謝の気持ちを心に残る打ち上げ花火で祝福してみませんか。メッセージを添えて打ち上げを行います。ぜひ自分の気持ちを伝え、記念花火に花を添えましょう。

マイ尺玉

「記念花火を打ち上げるほどのことはないけれど、自分の花火(マイ尺玉)を打ち上げたい!」という方を募集します。「(ご家族へ)いつもありがとう」など、メッセージを添えて打ち上げを行います。他の人が上げる花火を見ているだけではつまらない、自分(自分たち)の花火でまつりを盛り上げたいという方大歓迎です。

ふるさと花火

大石田町から離れて暮らしている親戚、友人、町にゆかりのある方にぜひご紹介ください。

◆申込締切 7月5日(金)まで
◆申込先 大石田まつり委員会事務局
(役場産業振興課内)
Tel.35-2111 内線145・146

☆☆花火価格表☆☆

- 10号 45,000円
- 花火コレクション 140,000円
- 大スターマイン 140,000円
- 特大スターマイン 200,000円
- ジャンポスターマイン 300,000円

新緑の最上川、楽しくふれあう



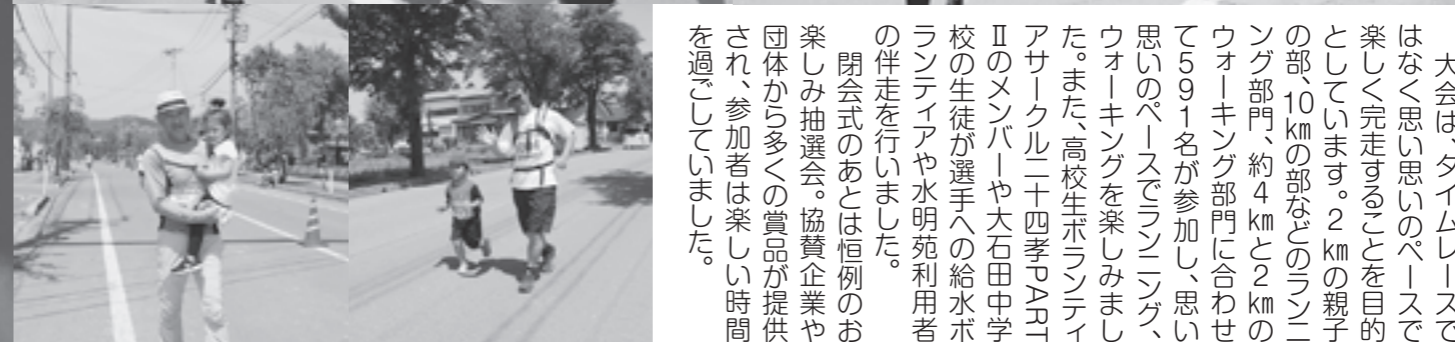
第25回最上川ふれあいマラソン大会

新緑の大石田町を駆け抜ける「最上川ふれあいマラソン大会」が5月26日(日)に開催され、町内外から約600名のランナーが参加して、楽しくさわやかな汗を流しました。



大会は、タイムレースではなく思い思いのペースで楽しく完走することを目的としています。2kmの親子の部、10kmの部などのランニング部門、約4kmと2kmのウォーキング部門に合わせ、591名が参加し、思い思いのペースでランニング、ウォーキングを楽しみました。また、高校生ボランティア、アサークル二十四孝ボランティアのメンバーや大石田中学校の生徒が選手への給水ボランティアや水明苑利用者の伴走を行いました。

閉会式のおとは恒例のお楽しみ抽選会。協賛企業や団体から多くの賞品が提供され、参加者は楽しい時間を過ごしていました。



防災マップの再確認を！

町では、「大石田町防災マップ」を全戸に配布しています。災害はいつでも発生するか予測できません。ただちに避難をするために、各家庭で危険箇所や避難場所を確認しましょう。

また、いざというときに備え、非常持出品を準備しておくことも重要です。この機会に防災マップを確認して、家庭での備えを万全にしましょう。



避難を呼びかける対象地域について

水害・土砂災害による避難を呼びかける対象地域は、防災マップで被害が想定されている地域です。以下の対象地区の方はあらかじめマップにより、想定される災害や避難場所、避難経路などを確認しましょう。

災害の種類	被害が及ぶと想定される地区
洪水災害の浸水想定域	横山地区：上宿・下宿・上ノ原・坂ノ上・黒滝 大石田地区：今宿・新町・川端・二丁目・本町・四日町・横町・佐田町・井出・緑町・桂木町 亀井田地区：豊田・大浦
土砂災害警戒区域	横山地区：里・黒滝 大石田地区：佐田町 亀井田地区：川前・大浦・次年子

洪水情報が「緊急速報メール」で配信されます

国が管理する最上川(丹生川、最上小国川)、鮭川(真室川、金山川)で、川が氾濫する可能性が高まった時に、その周辺にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が自動で発信されます。



緊急速報メールが来たらまずチェック！ 国土交通省 川の防災情報

雨
の状況

川
の水位

川
の様子

アクセス！

パソコンから <http://www.river.go.jp/>
スマートフォンから <http://www.river.go.jp/s/>

川の防災情報カメラ映像は対象地域が限られています。山形県内のライブカメラ映像は以下のURLから見るができます。
http://www2.thr.mlit.go.jp/yamagata/river_dp2014/

警戒レベルに関する問い合わせは ■総務課 総務グループ Tel.35-2111(内線218)
洪水情報「緊急速報メール」に関する問い合わせは ■国土交通省 新庄河川事務所 Tel. 0233-22-0251

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

警戒レベル4で 全員避難を!!

6月の出水期から「警戒レベル」を用いた避難の呼びかけを行います。警戒レベル3・4が発令された場合は、対象地域の方は**速やかに避難してください。**

警戒レベル	避難行動など	避難情報
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)
警戒レベル 2	避難に備え、防災マップ等により、 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意情報 大雨注意情報 (気象庁が発表)
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (町が発令)
警戒レベル 4 全員避難	速やかに安全な場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合には、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) (町が発令)
警戒レベル 5	すでに災害が発生している状況です。命を守るために 最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 (町が発令)

※「避難指示(緊急)」は、地域の状況に応じて緊急または重ねて避難を促す場合などに発令されるものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。
※「災害発生情報」は、災害が発生していることを町が把握した場合に可能な範囲で発令するもので、必ず発令されるものではないことに留意してください。

警戒レベル相当情報について 自らの判断で避難行動をとる際の、判断の参考とするための情報です。

(例)
【洪水】○氾濫警戒情報(警戒レベル3相当) 【土砂災害】○大雨警報(土砂災害)(警戒レベル3相当)
○氾濫危険情報(警戒レベル4相当) ○土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)
※警戒レベル相当情報が出されたとしても、必ずしも同じ時間または地域に同レベルの避難勧告が発令されるとは限りません。

○【警戒レベル】に関する詳細は「内閣府 防災情報のページ」をご覧ください。
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/

ニュース 玉手箱

力いっぱい、挑む

大 石田小学校と大石田南小学校で6月8日（土）に校内相撲大会が行われました。両校では礼儀とふれあいを体験することを目的に毎年行われています。相撲大会は児童が東西に分かれて行われ、それぞれに四股名があり、幕内力士と横綱の土俵入りや弓取りも行われるなど本格的なもの。児童たちは力いっぱい相手に挑み、白熱した取り組みを繰り広げていました。また、土俵の東西からは、仲間を応援する大きな声援が飛び交い、負けて悔しくて泣いてしまう子やそれを励ます児童の姿も見られました。



大石田南小学校



大石田小学校

にじっこひろばで歯みがき講座

歯 科医による育児講座「歯みがきしゅっしゅっ」が6月3日（月）に、にじっこひろばで行われました。6月4日から10日の「歯と口の健康習慣」にあわせて開催されたもので、子どもと保護者約15人が参加し、神部歯科医院の神部薫さんを講師に、虫歯予防のための歯みがきのコツなどを学びました。

神部さんは子どもの月齢・年齢に応じた食生活の注意点などを説明。自身の子育ての経験を踏まえて、仕上げ磨きのポイントや歯が生え始めたばかりの子の歯ぎしりなど、それぞれ異なる保護者の悩みに一つずつ丁寧に答えていました。



ソフトボールで楽しく交流

ソ フトボールを通じて体力の増進を図りながら、互いの親睦を深めてもらおうと、第41回大石田町壮年ソフトボール大会が6月2日（日）に開催されました。

大会には5チームが出場し、35歳以上の選手96名が参加して大石田北小学校グラウンドを会場に熱戦が繰り広げられました。結果は以下の通りです。

優勝 鷹巣壮年チーム
準優勝 下宿チーム

泥だらけになって田植え体験

町 内3つの小学校の5年生の児童が手植えによる田植えを体験しました。

大石田小では5月25日（土）に間宮良一さんの田で学年行事として行われ、保護者も田んぼに入り親子で田植えを楽しみました。大石田北小では27日（月）にJAみちのく村山青年部の協力で、部員の星川祐一さんが管理する田で苗植えを行いました。28日（火）には大石田南小でも田植えが行われ、横山地域農地・水・環境保全組織田沢部会（森秀雄会長）の協力で、指導する小内英徳さんの田んぼに「つや姫」の苗を植えました。児童たちは初めて入る田んぼの感触に戸惑いながら、泥だらけになって苗を植えてつけていました。各小学校では秋に稲刈りを行い、収穫した米を味わうことにしています。



大石田北小学校



大石田小学校



大石田南小学校

大沼デパートで大石田町フェア

山 形市中心部の大沼デパートで大石田町フェアが5月17日（金）から19日（日）の3日間開催されました。

大沼デパートでは毎年この時期に町の特産品などを紹介するフェアを開催しています。デパート入り口の特設ブースには町内産の採れたての山菜や漬け物、米粉パンなどが並びました。また、そば打ちの実演ブースもあり通りを歩く買い物客らが足を止めてそば打ちの技を鑑賞し、魅力いっぱいの大石田の味を買い求めていました。



ニュース 玉手箱



園児が土とふれあう



大 石田保育園の5歳児12名が、5月27日(月)に町特産のすいかの苗植えを体験しました。

これは、自分で植えた農作物の成長を見てもらい、収穫の喜びを感じてもらおうと、食育活動の一環として行われたもので、園児らは活動に協力した星川祐一さん(駒籠)のすいか畑で、土を手で掘って苗を植え、土をかぶせる作業を体験しました。子どもたちは、星川さんに教わりながら一つ一つの作業をていねいに行いました。この日植えたすいかは8月中旬ごろに食べごろを迎えるということで、保育園では大きくなったすいかの収穫体験も行うことにしています。

ボートで最上川を体感

ゴ ムボートで最上川を下るトムソーヤの冒険in最上川が6月9日(日)に行われ、町内の小学生13名が、川端地区から川前地区までの約5キロの川下りに挑戦しました。

「トムソーヤの冒険シリーズ」は、町教育委員会と放課後子どもプラン運営委員会の主催で毎年行われているものです。子どもたちはゴムボートに乗ると、大石田アウトドアクラブ遊Be隊(柴田和徳代表)のメンバーに教わりながら、パドルを使って力いっぱいボートを漕ぎ約5kmを1時間半かけて下りました。子どもたちはパドルを使って水をかけ合うなど、普段見慣れていても味わうことのできない体験で、最上川とのふれあいを満喫しました。



周遊観光プロジェクト報告会

銀 山温泉を訪れる観光客に、観光の起点となる大石田駅周辺の情報を紹介し周遊観光を促そうと、富士通(株)などと共同で行った実証実験「銀山大石田周遊消費促進プロジェクト」の報告会が5月29日(水)にKOE no KURAで行われ、地域おこし協力隊の香坂明さんや富士通の担当者から参加した商店主などに向けて実験結果が報告されました。

実験は、駅から温泉宿までの経路にQRコードを掲載したポスターなどを設置して、大石田駅周辺や銀山温泉の情報を紹介した特設サイトに誘導するというもの。デジタルマーケティングという観光分野では珍しい手法の取り組みで、一般的な情報サイトよりも閲覧数が多くなったことが報告され、参加者と今後の展開について意見が交わされました。



ながーい自然薯楽しみに

大 石田南小学校の6年生児童が5月24日(金)に自然薯の植え付けを体験しました。これは大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)の協力で毎年行われているものです。苗植え体験は学校脇の畑で行われ、研究会のメンバーのほかウイルスフリーの苗を研究会に提供している村山産業高校農業部の生徒も参加し、児童らに植え付けを指導しました。

児童らは畑に穴を掘って種芋を横向きに植え、その上から土をやさしくかぶせていました。学校では秋に収穫体験を行い、児童が調理する自然薯料理を楽しむ収穫イベントを行う予定です。



万葉集を読む読書会

新 しい元号・令和の典拠にもなった古典「万葉集」を読む読書会の1回目が5月21日(火)に虹のプラザ小会議室で開催されました。万葉集は奈良時代の末にできた日本で一番古い歌集で、天皇や貴族から農民まで幅広い階層の人が作った約4,500首の歌が収められています。

読書会ではその中で最も多く収められている「相聞」とよばれる男女の恋歌をテーマに取り上げ、参加者は相手を感じる繊細な歌を声に出して読み、当時の貴族たちの恋愛について意見を交わしていました。万葉集を読む読書会はこのあと来年の3月まで、毎回テーマを変えて開催される予定です。



子育てのイライラ吹き飛ばそう

横 浜市の保育施設の代表で、NHK・Eテレ「すくすく子育て」に出演している柴田愛子さんによる講演会が6月2日(日)に虹のプラザ中会議室で開催されました。

この講演会は子育てサークル・小さなおもちゃばこの会(吾妻満代表)が主催したもので「子育てはどうしてイライラするのか?しつけ編」と題して、柴田さんは、しつけやしかり方をテーマに、どのように子どもと向き合うべきかを運営する保育所で起きたエピソードを披露しながら話しました。講演会に参加した子育て中の保護者や保育関係者など約80人は、ユーモアたっぷりの柴田さんの話熱心に耳を傾けていました。



大石田町職員採用試験案内

あなたの熱意を町の力に

募集職種	一般行政職（初級）
採用予定人数	若干名
受験資格	平成2年4月2日以降に生まれた方で、高等学校卒業以上、または令和2年3月31日までに卒業見込みの方で、採用された場合に大石田町内に居住できる方
試験日程	【一次試験】 9月22日（日） 場所：大石田町役場 ・教養試験 ・作文試験 ・職場適正検査 【二次試験】 10月下旬予定（詳細は一次試験合格者に通知します）

受験 手続

- 【申込書請求】 郵送の場合は朱書きで「採用試験申込用紙請求」と書き、140円切手を貼り、あて先を明記した返信用封筒（角2サイズ）および電話番号等連絡先を記載した用紙（様式は問いません）を同封のうえ、下記へ請求してください。
または、総務課窓口（役場2階）でも交付します。
- 【受験申込】 受験申込書等の必要書類をそろえて、7月1日（月）～7月31日（水）に下記へ申し込みください。郵送の場合は、当日消印有効です。
〒999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町1番地
大石田町総務課 総務グループ TEL 35-2111（内線212）



平成12年度採用

和田 勉（教育文化課）

各種教室やスポーツイベントなど、社会教育・社会体育の事業を企画・開催しています。
楽しく参加していただけるような事業や、新しい事業を企画・立案し開催することができ、子どもから大人まで町民の皆さんが心豊かに生活を送れる事業を提供する大切な仕事だと感じています。



平成19年度採用

有川 隼人（建設課）

道路や消雪施設等の維持管理を担当しています。生活するうえで不可欠な道路を日々確認し、通行に不便を感じないように努めています。
維持や補修について住民と意見を交わしながら、より生活しやすい環境を整えていく、重要な仕事だと思います。



平成29年度採用

須藤 亮（総務課）

町有財産の管理や庁用車の運行に関する仕事を担当しています。住民が安心して生活できるよう迅速な対応を心がけています。
財産管理は土地や施設、道路など分野が広く町民生活に直結するため、知識と責任感を求められますが、やりがいを感じられる仕事です。



まちとしよ

～大石田町立図書館 infomation～

＼きてけらっしやい／



☎ 35-3877 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」内
公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>

- 開館時間 午前9時～午後7時（日曜日・祝日は午前9時～午後5時）
- 休館日 毎週木曜日・特別整理期間ほか 《7月の休館日》4日（木）・11日（木）・18日（木）・25日（木）

「日本文化遺産」に大石田が追加認定！

— 紅花と大石田に関する本をご紹介します。 —

地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する「日本文化遺産」に、昨年山形県の「山寺が支えた紅花文化」が認定されましたが、紅花舟運に関わりのある大石田町の最上川岸の景観が今年度追加認定されました。
江戸時代、「最上紅花」が出羽村山地方の特産物として発展した背景には、最上川中流域の土壌や気候が栽培に適していることや、最上川舟運の整備と紅花商人の活躍がありました。大石田河岸で舟積みされた紅花は京都などの上方へ運ばれ、幕末の最盛期には1,550駄（1駄＝120kg）もの紅餅が大石田に集められたという記録があります。紅花交易において大石田は主要な交易地でした。
松尾芭蕉は山寺に向かう途中、「眉掃きを佛にして紅粉の花」という句を残しています。芭蕉が山形に来訪したとされるこれからの季節、紅花の花は見頃を迎えます。



◆参考文献 『最上川舟運と山形文化』 横山昭男著（町立図書館蔵書）

新館長が就任しました



6月より柏倉泰樹さん（南通）が館長に就任しました。柏倉館長は村山市の富本小学校の元校長先生で、昨年出版された詩集『空中ぶらんこ』で第18回山形県詩人会賞を受賞されています。

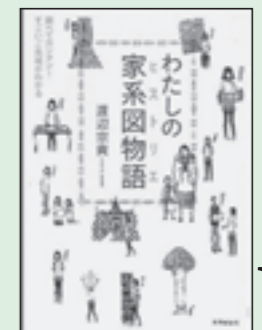
「やまがたの紅花 県民が誇る日本遺産」
「山寺と紅花」
推進協議会発行（町立図書館蔵書）
※虹のプラザで無料配布中です



行事・展示のお知らせ

日時・場所	内容
7月6日（土） 10:30～11:00 図書館 おはなしコーナー	司書によるおはなし会 毎月第一土曜の30分は、皆でおはなしを楽しみませんか？参加してくれた方には、おはなしスタンプカードをプレゼント！ぜひすてきなスタンプをためてみてね♪
7月16日（火） 10:00～11:30 虹のプラザ 2階小会議室1	読書会『「万葉集」を読む』 新元号「令和」の出典でもある日本最古の和歌集『万葉集』を皆さんで楽しく読んで見ませんか？ ○申込み 前日まで TEL 35-3877へ ○テキスト 『よみたい万葉集』（村田 右富実、西日本出版社刊）をご用意ください。
7月の展示	時代物～藤沢周平特集～・海の日特集・展示「旅にしよう」

今月の新着



読んだら調べてみたくなる！

『わたしの家系図物語 調べてカンタン！すごい先祖がわかる』
渡辺 宗貴著

et pesora 地域おこし協力隊コラム
大石田町エトペソラ

コラム初投稿になります。初めまして、4月に地域おこし協力隊に着任した大野達也と申します。家族3人で大石田町に引越して来ました。妻の大野あかねも地域おこし協力隊ですが、現在は産休に入っています。6月の中旬に第二子が生まれる予定です。

在住2ヶ月、多くの方とお話をさせて頂きましたが、一番多く聞かれた事はなんだと思いますか？正解は『大石田の雪の量は知っているの？』です。ちなみに私は知りません。ただ雪の量が凄いやう事しか知りません。皆さんが心配して言っている事はわかっていますが、私はその雪の量をとっても楽しみにしています。

私の故郷神奈川県川崎市は雪の降る地方ではありません。雪がとて多く降ったとしても3日程度で、消えて無くなってしまいます。そんな私からすると、雪がたくさん降る事にわくわくして待ち遠しいとすら感じています。車の雪かきや道路の除雪なんてのも初体験です。

さて、話は戻りますが、2番目に多く聞かれた事は『大石田町はどう住みやすい？』です。私は『今の所住みやすいです』と答えています。来年の春になった時に『大石田町はどう住みやすい？』の答えが出ていると思います。ぜひ来年春に私に質問してみてください。(大野)



SNSで大石田町のエトペソラを発信中!! / ブログ・Facebook「大石田町エトペソラ」 / Instagram「oishida_et_pesora」

消防団活動に尽力 2氏に叙勲・褒章



横山利一副町長が再任

第2回大石田町議会定例会において、横山利一副町長が再任されました。任期は令和5年6月10日までの4年間となります。



高橋静雄さんに瑞宝単光章

高橋静雄さん(来迎寺)に「瑞宝単光章」が授与されました。高橋さんは昭和48年から平成19年まで町消防団員を務められ、その間、分団長などを歴任し、災害現場での団員の指揮と予防消防に尽力されて町消防団発展に多大な貢献をされました。叙勲はこれらの功績が認められたものです。
大変おめでとうございます。



三浦清孝さんに藍綬褒章

町消防団団長の三浦清孝さん(鷹巣)に「藍綬褒章」が授与されました。三浦さんは平成22年から町消防団団長として災害発生時の指揮や日頃の予防消防にあたり、山形県消防協会北村山支部長も務められています。褒章はこれらの功績に対して贈られたものです。
大変おめでとうございます。

7月の主な行事予定

日	行事予定
1(月)	母子健康手帳交付 / 午後1時30分 / 役場相談室
6(土)	わくわくお菓子教室 / 午前9時30分~午前11時30分 / うろこや総本店尾花沢工場
10(水)	心配ごと相談 / 午後1時30分~4時 / 社会福祉協議会 行政相談 / 午後1時30分~3時30分 / 虹のプラザ小会議室1
11(木)	年金相談 / 午前10時~午後3時 / 役場101会議室 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。TEL 0233-22-2050
16(水)	読書会「『万葉集』を読む」 / 午前10時~午前11時30分 / 虹のプラザ小会議室2 母子健康手帳交付 / 午後1時30分 / 役場相談室
20(土)	トムソーヤの冒険 in 田沢沼 / 午前9時~午前11時30分 / 田沢沼(大堤)
22(月)	虹カフェ / 午前9時30分~午前11時30分 / 保健センター
24(水)	無料法律相談(要予約) / 午後1時30分~午後4時 / 社会福祉協議会
25(木)	農業委員会総会 / 午前10時 / 役場大会議室
27(土)	スイカオーナー収穫イベント / 午前10時~正午 / 深堀ふれあい農園
28(日)	スイカオーナー収穫イベント / 午前10時~正午 / 深堀ふれあい農園

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

死亡事故ゼロ1246日目

(6月15日現在)

大石田町の事故発生状況

(1月1日~6月15日)



- 発生件数 3件 (-2件)
 - 負傷者数 4人 (-2人)
 - 死亡者数 0人 (±0人)
- ※()は前年比

= ペダルの踏み間違いに要注意!! =
特に駐車場での運転操作は確実に。

毎月1日は「大石田町交通安全行動の日」

日曜・休日急患の当番医

7月 診療時間: 午前8時30分~午後5時

日	当番医院名	電話
7日(日)	尾花沢市中央診療所	(23)2010
14日(日)	加藤クリニック	(22)9877
15日(月)	後藤医院	(35)2034
21日(日)	さかえクリニック	(53)8181
28日(日)	尾花沢病院	(23)3637

家族の健康管理に気をつけて

あなたのニギハク

短歌

風に散る桜の花びらを手に受けるまた来年を楽しみにして
若き等に伝へねばならぬ老いとなり横山大火を町史に学ぶ
花終へてはの赤き蕊散りつものたんばく咲きし野道を歩む
猫の背を何度も何度も鋤いている冬毛を早く脱がせたいから
老体に鞭打ち耕す畑仕事茄子の初挽ぎ父母に供える
谷越しの青葉の山にひとしきり吹く風は見ゆ藤花揺らし
斑雪葉山の嶺に輝きて我も我もと代掻きはじむる
空仰ぎ「朝てつかりの昼めつ」独り言ちつ畑に出でゆく
田植える目安とされし雪形の「小国駒」見え空澄み渡る

海 伊 杜 富 佐 小 鈴 八 鈴
藤 藤 樫 々 玉 木 欽 木
忠 哲 匠 榮 昭 春 多 喜 智
男 夫 一 太 郎 治 歌 喜 子 恵 美

俳句

山野萌幾人採りし蕨あり
繭白き一家で御守る絹の糸
活けられて月を待ちある花芒
新緑や白壁塙の舟着場
苺摘む吾子の手あふれ口あふれ
放牧の牛のんびりと青葉食む
薔薇庭へ招かれ子等と談笑し
芍薬を老母問ふ訪へば今ふくむ

星 土 齊 木 柏 五 青 青
川 屋 藤 村 倉 十 木 木
紀 忠 静 満 ヤ 隆 ミ 宙
一 子 子 喜 子 司 薩 女 翁

別冊 おおいだものがたり ～資料館資料編～

■『^{こうしよく もや}紅色の靄』 大石田と文芸展より

今回は資料館で開催中の「大石田と文芸展」より、齋藤茂吉随筆『^{こうしよく もや}紅色の靄』直筆原稿をご紹介します。

齋藤茂吉の、歌人という一面はよく知られたところですが、実は万葉集の研究者でもあり、優れた随筆の名手でもありました。いずれもその文才は高く評価されています。

柿本人麻呂をはじめとする和歌の研究書は論理的で隙が無く、これは何事も根を詰めずにはいられないという茂吉の性格に由来するものなのでしょう。高い壇上から演説をするような、読者にも緊張を強いるかのような論調です。

それに対して随筆は、日常の事、短歌のこと、思い出語りなど内容は多岐にわたりますが、どれもどこか気の抜けたようなおかしみが含まれています。茂吉の次男である北杜夫はこのような点を「おのずかなるフモール」と評しています。自然に備わっていて、にじみ出てくるユーモアといったところでしょうか。それが随筆という形式をとると、顕著になるようで、気の置けない人との語らいを傍で聞いているような心地よさがあります。

ところで、芸術作品を鑑賞することを「味わう」と表現したりしますが、何かを味わうには、時間がかかるものです。相對した作品を味わうには、咀嚼し、時に反芻する作業が必要だからです。しかし、事文芸作品に関しては、あまり時間をかけない傾向はないでしょうか。日々できるだけ早く内容の理解を強いられる私たちにとって、一大巨編ならまだしも、随筆のような短文や、まして31文字を基本とする短歌などはほんのわずかに目を通しただけで、とりあえずは読めてしまいます。これでは嚙まずに飲み込むようなもので、堪能したとはいえません。

『紅色の靄』には、「ささらぎの日いづるときに紅色の靄こそうごけ最上川より」の歌とともに、その光景を目にし、作歌した前後のことが主な内容です。その場に立ち会えた感動や「紅色の靄」という造語を思いついた嬉しさはとて無邪気に、その一方で歌集『白き山』の初版にこの時の歌を収載し忘れたことは自嘲気味に、茂吉特有の丸みを帯びた筆文字で綴られています。くせのある字は読みにくいとも感じますが、一字一字を拾いながら読んでみると、文章と文字に独特のリズムが生まれ、しだいに内容が深く浸透していくようです。

活字に親しんだ私たちにとって、活字になる前の、作者の手による文字はすらすらとは読めませんが、そのことがかえって作品を味わうことにつながるのかもしれない。時にはじっくりと文芸作品の世界に浸ってみてはいかがでしょう。

「大石田と文芸展」は8月12日(月)まで



町の人口 令和元年6月1日現在

世帯数	2,351 戸	(+3)
総人口	7,038 人	(-5)
男	3,456 人	(-3)
女	3,582 人	(-2)

(5月中の異動)

出生	2 人	転入 16 人
死亡	12 人	転出 11 人

※この数字は外国人数も含めた数字です。

楽がき帳

トムソーヤの冒険in最上川のボートに子どもたちと一緒に乗り込んで取材しました。前日に雨が降った影響で川の水位は少し上がっていて、子どもたちが楽しみにしていた水鉄砲は体が冷えてしまったため中止に。川に足を入れると確かにかなり冷たい。流れも早く、ボートはすいすい下流へ。

水面からの景色を楽しみながら黒滝橋を過ぎ、ゴールの川前地区に近づいたあたりで、水鉄砲はダメでもパドルを使うことを思いついた子どもたち。水面をたたくようにして水をかけ合い、ずぶ濡れに。楽しいのは一瞬で、下流側から吹く冷たい風にブルブル震えながらなんとか上陸しました。カメラは壊れないのかと皆さんに心配されますが、一応防水なので大丈夫です。

(あ)